

# ドイツ最強のベストセラー作家が仕掛ける 密室状況 & タイムリミット & ドンデン返しサスペンス！

週刊文春ミステリーベスト 10 で第3位となった話題作『乗客ナンバー23の消失』に続き、  
ドイツ・ミステリーの最終兵器フィツェックが放つ大胆すぎるドンデン返し！  
舞台は旅客機——逃げ場も、警察も、武器もない。

## 座席ナンバー7Aの恐怖

FLUGANGST 7A

セバスチャン・フィツェック 著 / 酒寄進一 訳

単行本 / 3月8日発売 / 本体 2250円 + 税

“おまえの娘は誘拐した。娘の命が惜しければ、  
今おまえが乗っている旅客機を落とせ。”

ベルリンにいる娘に会うため、旅客機に乗り込んだ精神科医クリューガーの携帯電話が鳴った。相手は言う、「娘の命が惜しければ、その旅客機を落とせ」。精神科医のスキルを動員して、心に傷を持つ乗員の精神を破壊し、機を墜落させろと。クリューガーはベルリンにいる友人に連絡をとり、娘の行方を調べはじめるが、事態は悪化するばかり。密閉された飛行機内で展開する謎また謎。監禁された女性をめぐる必死の追跡と、その陰に張り巡らされた奸計また奸計。すべての謎が解かれた瞬間、あなたの読んできた物語は一挙にその姿を変える！

『治療島』で一躍ベストセラー作家となったドイツ作家セバスチャン・フィツェック。リーダビリティの高さ、ぎっしり詰め込まれたアイデアの数、そして大胆なドンデン返しで国民的人気を誇る彼が、さらに一回り大きなサスペンス作家として飛躍したのが『乗客ナンバー23の消失』。豪華客船で次々に起こる怪事件を描き、日本でも「週刊文春ミステリーベスト 10」で第3位となるなど、旺盛なサービス精神と大胆すぎるサプライズでミステリー・ファンを魅了しました。本作は『乗客ナンバー23の消失』に続いて発表された、対を成す作品です。今度の舞台は飛行機！ ドンデン返しの過激さは前作を上回ります。主人公を脅して機を落とそうとする犯人の目的は？ そして数年前に起きたハイスクール無差別銃撃事件の真相は？ そしてなぜ主人公の亡妻の香水が機内に漂っているのか——？

お問い合わせ先：文藝春秋・プロモーション部 03-3288-6142 (tel) / pr@bunshun.co.jp